

2026年度 北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔国語〕〔国語演習〕	2年	1 単位	教科書	論理コミュニケーション トータルロジックス特別版	副教材等		履修対象・ 使用教室 等	2 年3組／HR		
教科・ 科目 の 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。 （１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （２）論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わるようになる態度を養う。										
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。			「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。				
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「５段階の評定」とする。										
評価 資料 ・ 評価 比重 〔100点換算〕	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	論述検定（外部試験）		3回			90		90		0	
	課題提出		適宜			10		10		100	
	〔観点別配分％〕		（３観点の比重を％で示しています）								
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名		配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕 知・技 思・判・表 態度		
4 5	力試し 序章 設計図（前編）		6	文章の設計図の基本を理解する。			提出物	○	○	◎	
6 7	設計図（後編） 論述検定① 事例演習①		6	文章の設計図の基本を定着させる。			提出物	○	○	◎	
	検定結果						◎	◎	○		
8 9	事例演習② 事例演習③		4	事例を明確に記述する。			提出物	○	○	◎	
10 11	検定解説① 論述検定② 事例にいつ・どこで		7	事例に具体性を持たせる。			提出物	○	○	◎	
	検定結果						◎	◎	○		
12 1	事例に事実 事例演習 ルール 5		6	事例に事実を書き、根拠の質を高める。			提出物	○	○	◎	
2 3	論述検定③ 検定解説		6	論理的な文章を記述できる。			提出物	○	○	◎	
	検定結果						◎	◎	○		
学習の アドバイス	1回の授業を大切にし、学習内容を確実に身につけていきましょう。										